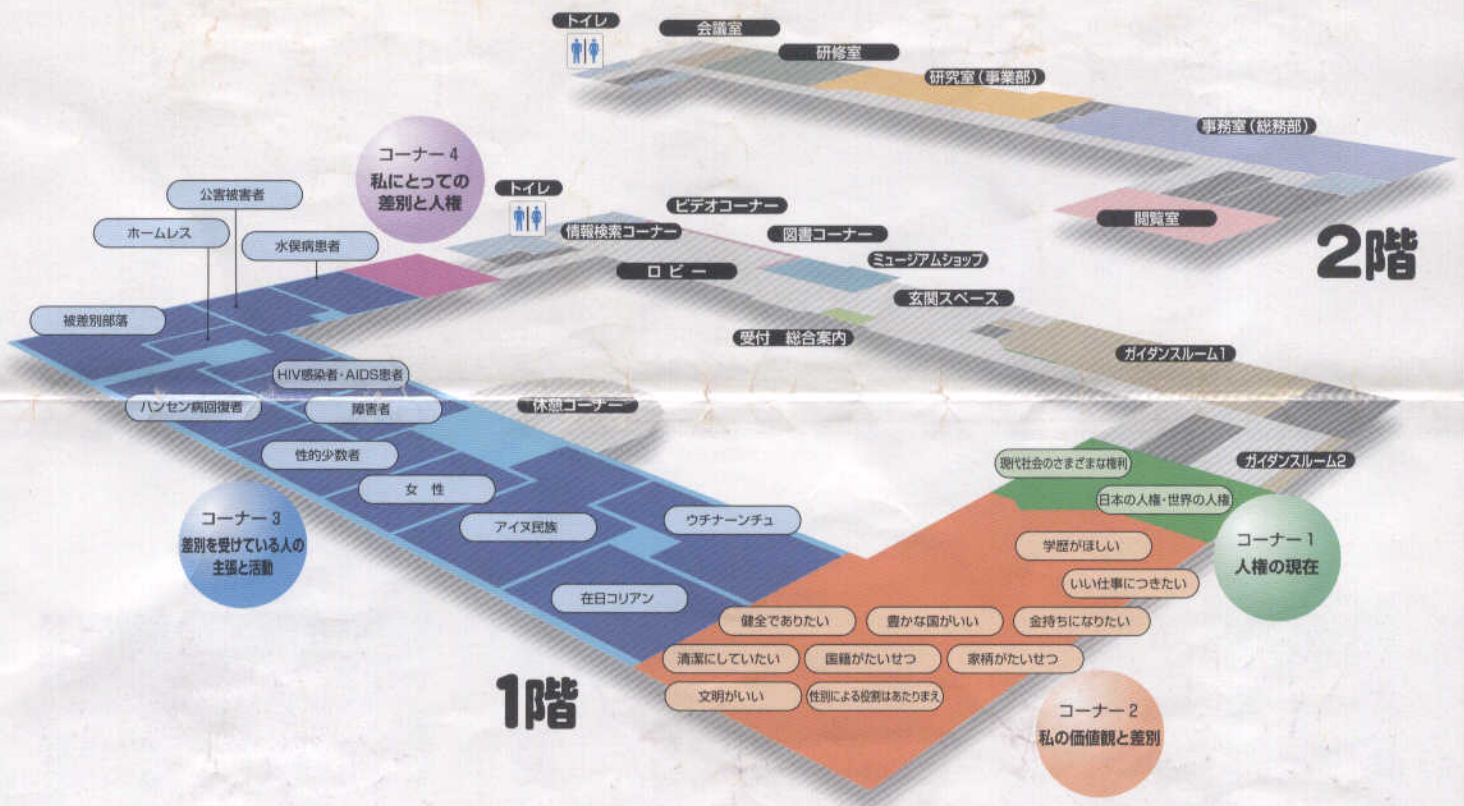


リバーティおおさか大阪人権博物館

館内見取図



- レファレンス機能**
 - 展示室で質問にお答えします。詳しい質問には学芸員が対応します。
 - ロビーの図書・情報コーナーや閲覧室の利用ができます。
 - 音声案内の提供**
 - 展示内容の理解を深めるための音声ガイド（日本語・中国語・英語・ハングル）を提供しています。
 - 言語対応**
 - ボランティアが英語・中国語・ハングル・手話で展示観覧のお手伝いをします。
※日によってはご利用できない場合もあります。
 - バリアフリー**
 - 障害者の観覧支援をしています。
 - 補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）と一緒に入館できます。
 - トイレ**
 - 多機能トイレ・車いすトイレも設置しています。
 - ペーパーシートもご利用できます。
- その他、お気軽にスタッフにお問い合わせ下さい。

コーナー 1

人権の現在

- 人権は当たり前のものでなく、歴史的にかちとられたものです
- 人権が認められなかった人にとって、人権はどんな意味をもったのでしょうか
- 人権という視点で身近な社会の動きを見直してみると何が見えるでしょうか

コーナー 2

私の価値観と差別

- 当たり前だと思われている規範や価値観が差別とつながっていないでしょうか
- 私たちの間で慣習になっていることから、差別が新しくつくられていないでしょうか
- 価値観と差別をアジア、世界との関連から見ると何が見えてくるでしょうか

コーナー 3

差別を受けている人の主張と活動

- 被差別者はどのような産業、運動や文化をつくりあげてきたのでしょうか
- 次の12のテーマがあります
 - ・在日コリアン ・ウチナンチュ ・アイヌ民族 ・女性
 - ・性的少数者 ・障害者 ・HIV感染者・AIDS患者
 - ・ハンセン病回復者 ・公害被害者 ・被差別部落
 - ・ホームレス ・水俣病患者

コーナー 4

私にとっての差別と人権

- さまざまな立場で差別問題に関わった人の話を聞くことから、差別と人権の問題にどのように向きあっていることができるでしょうか
- 約30分の語りを取りめた映像を、選択してご覧になれます